

宇都宮市立今泉小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
目標(めあて・ねらい)の共有化と振り返る時間の確保	児童が意欲をもって授業に取り組めるような学習課題を設定していく。また、児童が課題を受け止め、見通しをもって学習に取り組み、授業の終わりには自らの学びを振り返る時間を確保できるようにする。	「授業の中で、目標が示されている」の設問に4・5年生とも9割以上が肯定的回答をしていた。今後も継続して児童自身が課題意識をもち、意欲をもって授業に取り組めるような目標の共有化に努めていく。「授業の最後に、学習したことを取り返す活動をよく行っている」の設問に対しては、肯定的な回答が学年によって9割以上であったり、7割を下回つたりしている。学校全体の取組として授業の終わりには本時の学びの成果を確認し、次時への学習に見通しをもつ時間を確保することを意識していく。
コミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫	授業の中で多様な形態で、自分の考えと友達の考え方とを比較し、対話できるような場面を設定していく。また、対話を通じて学び合い、自分の思いや考えを表現できるような児童を育成していく。	「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である」の設問に肯定的に回答した児童の割合は、4・5年生とも5割を下回る。これは、市の平均と比べ、3ポイントほど下回る。しかし、「友達と話し合うとき、友達の話や意見を見聞きことができる」と回答した児童の割合は、4・5年生とともに、94%を超える。今後、自分の意見に自信をもつて発表することができるよう支援していく。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
4・5年生に共通する課題点として、根拠をあげながら自分の考えをまとめたり、自分の考えと相手の考えを対比させ、共通点や相違点に着目したりする設問での平均正答率の低さが見られた。	授業改善の取組の中で、自分の考えをもちやすくしたり、話合いをしやすくしたりするための工夫を行い、学びを深めさせていく。	話合い活動を取り入れる際に、自分の考えをもって話合いに臨める工夫をする。例えば、これまでの自身の考え方の蓄積や既習事項を見返しやすくして、考え方を想起しやすくする工夫。根拠をあげながら自分の考え方をまとめる際に、「自分の考えは何か」、「何をもとに考えたか」、「なぜそのように考えたか」といった論理的な考え方の型を示し、考え方をまとめやすくする工夫。考え方の型をそろえ、見せ合って説明することで互いの考え方を対比しやすくなる工夫など。